



御前崎市立浜岡北小学校

出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和5年5月18日(木)



「説明がわかりやすく、子どもたちも気軽に質問できる雰囲気がとても良かったです。」

御前崎市立浜岡北小学校の6年生21人が、社会科の歴史体験学習として、土器や石器に触れ、大昔の人々の暮らしを楽しみながら学ぶことを目的に、発掘調査と周辺遺跡の話、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの4つの体験を行いました。

発掘調査と周辺遺跡の話



発掘調査の仕方と資料整理、保存処理などの仕事を説明しました。その後、浜岡北小学校の周辺にも遺跡があることを伝え、驚いていました。

「昔を知る上で大事なことが分かった。」

「自分たちの地域にも遺跡があると聞いてびっくりした。」



土器の分類体験



「分けるのが楽しかった。文様の無いものもあって面白かった。」

完形土器をよく見て、入念に触ったあと、班に戻り、縄文土器、弥生土器、須恵器の3つの土器片を取り分けました。色や厚さ、文様などを手がかりに、悩みながら分けることができました。



石器の試し切り体験



昔は石が生活に必要なだったことを考えた後、打製石器、磨製石器の本物を見たとき、目が輝き歓声が上がりました。その後、黒曜石で、紙や野菜を切ってみました。



「昔の人は石で切って大変だったと思う。切るのに時間がかかって大変だった。」

火起こし体験



簡単に火起こしの歴史を話した後、舞きり法での火起こしの仕方を説明し、班に分かれて弾み車を回し始めました。力の限り火きり弓を押して、なんとか火種が出来ると、フーフータイム。ようやく火が起きると、とてもうれしそうでした。

「疲れて大変だった。昔の人は苦勞して火をつけていた。」



「昔の人はとても大変だったと思う。火がついてうれしかった。」



先生方の感想

「社会科の授業ではまだ歴史学習をスタートしていませんでしたが、その段階の子どもたちにも分かる説明をしていただき、とても良かったです。普段は体験できないことや、実物にも触れることが出来てとても良かったと思います。説明がわかりやすく、子どもたちも気軽に質問できる雰囲気がとても良かったです。ありがとうございました。」

